



株主通信

2025年3月期 中間期
2024.4.1 ▶ 2024.9.30

スピンオフ上場準備は順調 両事業それぞれユニークな独自戦略を加速

代表取締役社長 CEO 筑紫 敏矢

当社では、昨年からお伝えしております通り、2025年内に当社の連結子会社である株式会社AGESTの株式分配型スピンオフ及び上場（以下、「スピンオフ上場」）を行うことを目指し、その準備を進めております。その一環として当社では、2024年4月1日付でスピンオフ上場に向けた新たなマネジメント体制へと移行し、両事業それぞれの専門性や成長戦略に特化した事業運営に注力しております。日本ではまだ事例の少ないスピンオフ上場ですが、明確に異なる事業価値創造戦略を有する2つの事業を個別に上場することで経営フォーカスを高め、最適な資本政策でそれぞれの事業の持つポテンシャルを最大化し、事業及び株主・顧客・従業員等すべてのステークホルダーに最良の効果をもたらすことを目指しています。

当中間連結会計期間では、DHグループ事業において、国内外のグループ会社間やアライアンスパートナーとの連携を強化することで、翻訳・LQAや音声収録、マーケティング支援等、コンテンツのグローバル展開に必要なサービスをワンストップで提供できる体制の構築を図るとともに、“東京ゲームショウ”（日本），“ChinaJoy”（中国）や“gamescom”（ドイツ）をはじめとする各国最大規模のゲームショウへの積極参加を通じ、“デジタルハーツ”の認知度向上やグローバ

ルブランドの確立に注力いたしました。また、AGESTグループ事業においては、引き続きハイスキルエンジニアの採用を強化するとともに、単なるテストの実施代行ではない、シフトレフトに対応した付加価値の高いQAソリューションの提供に努めることで、新規案件の獲得や競合他社との差別化に努めてまいりました。

これらの取り組みの結果、DHグループ事業・AGESTグループ事業ともに増収増益を達成し、当中間連結会計期間の売上高は19,906百万円（前年同期比106.6%）、営業利益825百万円（前年同期比113.1%）となりました。一方、会社計画に対しては、DHグループ事業は概ね計画通り進捗しているものの、AGESTグループ事業が当第1四半期に発生した特定案件のクライアント側のスケジュール変更等の影響を受け進捗が遅れていることから、この度通期連結業績予想を修正することといたしました（⇒詳細はP5）。上期は、AGESTグループ事業において、特定のイレギュラー案件の影響で想定していた実績が出せず大変悔しく思っておりますが、足元では大手自動車メーカーや大手流通企業からの大規模・継続案件の獲得が進んでおり、下期は期初に計画した業績と同水準に回復することができると考えています。

HIGHLIGHT

2025年3月期中間期 連結業績ハイライト

(百万円)	24/3期中間	25/3期中間	前年同期比
売上高	18,669	19,906	106.6%
営業利益	729	825	113.1%
経常利益	792	809	102.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益又は 中間純損失(△)	△436	455	—

決算のポイント

- ✓ グローバルサービスや海外子会社の売上を大きく伸ばしたDHグループ事業が売上・利益ともに業績を牽引
- ✓ 1Qに一時的に収益性が低下していたAGESTグループ事業も、2Qから安定的に利益を創出し、上期として増収増益を達成
- ✓ 前期計上した海外テスト子会社の減損損失の反動により、当中間期の親会社株主に帰属する中間純利益は黒字転換

また、中長期的な成長に向けてのアクションについては、各事業独立経営を行うようになったことで、今まで以上にスピード感をもってそれぞれの特色を出したユニークな成長戦略を推進しています。その象徴的なものの1つの事例がAI活用です。DHグループは、クライアントが抱えるゲームの世界同時発売に対する課題を解決するため、「ELLA」というDHグループにしかできないゲームに特化した画期的なAI翻訳エンジンを株式会社ロゼッタと共同開発いたしました。すでに「ELLA」をお試しいただいたお客様からは、ゲームの世界観やキャラクターの個性を反映した翻訳品質に高い評価をいただいております。来年早々にはアジア言語に続きヨーロッパ言語を実装する予定です。一方、AGESTグループでは、エンジニア人材不足のなか精度の高いテストを短期間で実施

するため、「TFACT」という独自のAIテストツールの開発を進めています。この「TFACT」では、事前準備や結果検証・分析等をエンジニアに代わりAIが実施することで、圧倒的なスピード、高度なQA、エンジニアのリソース不足の解消を目指しています。このように、同じ「AI活用」でも全く異なる角度からのアプローチを行っており、やはり、それぞれ1つの事業にフォーカスしたほうが、このような新しいチャレンジを加速させることができると実感しています。

今後も、DHグループ、AGESTグループともに、それぞれの専門性やユニークネスを活かした独自の成長戦略を強力推進することで、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループの今後にご期待いただき、引き続き変わらぬご支援をいただけますと幸いです。

スピノフ上場のねらい

明確に異なる事業価値創造戦略を有する2つの事業を個別に上場 経営フォーカスと最適な資本政策で、それぞれの事業の持つポテンシャルを最大化

DHグループ事業

- ✓ 確立され、差別化された事業モデル
- ✓ 明確な顧客提供価値
- ✓ 事業領域をサービス軸と地域軸で拡大
- ✓ 国内デバッグで創出する安定したキャッシュフローを拠点投資と株主還元バランス配分

拠点投資と安定成長

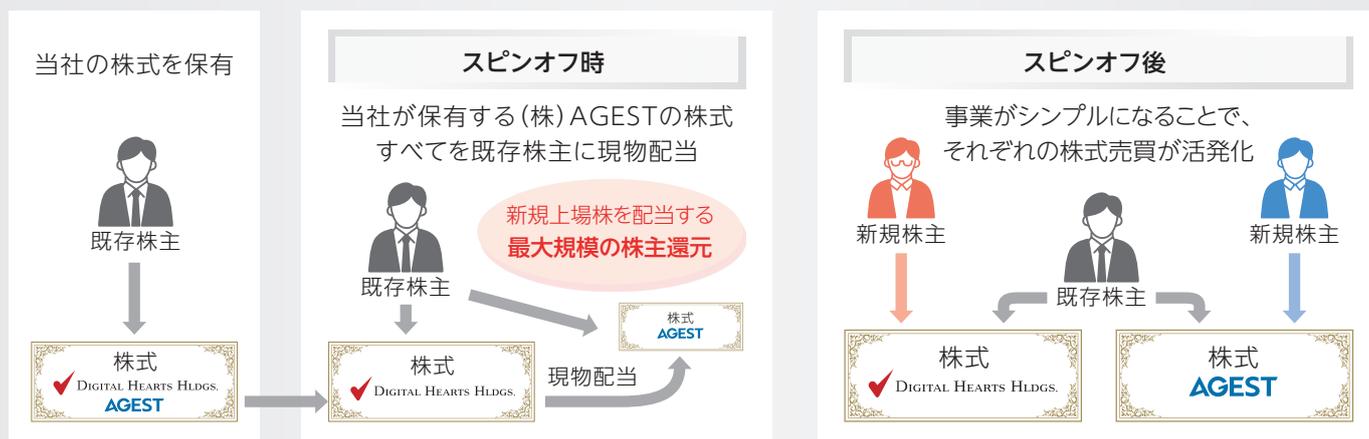
AGESTグループ事業

- ✓ 変化・革新を求められる事業モデル
- ✓ イノベーションから生まれる事業価値
- ✓ 技術とスペシャリストの付加価値向上
- ✓ 機動的な資金調達により技術やM&A等の成長投資を加速

技術投資と革新的な成長

- 経営のフォーカスが高まり、新たな株主も惹きつける最適な資本政策で、中期的な収益性が向上
- 内在する個別事業価値が市場で直接評価されることで、それぞれの事業が有する本源的な価値に収れん
- コングロメリット・ディスカウント等が解消され、シンプルでわかりやすい株価形成へ

スピノフのスキーム



DHグループ

国内のコンソールゲームやモバイルゲーム等の不具合をユーザー目線で検出し、顧客企業に報告するサービスや、ゲームの翻訳・LQA、ゲーム開発支援、マーケティング支援、フリーランスエンジニアを活用したエンジニア派遣等のサービスを提供

売上高

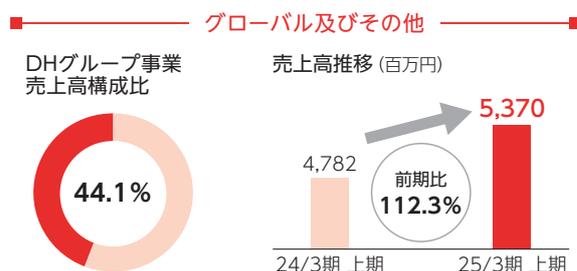
12,170百万円
(前年同期比 107.0%)

セグメント利益

832百万円
(前年同期比 111.2%)

25/3期 上期のポイント

- ゲーム特化型AI翻訳エンジン「ELLA」をローンチするなどのサービス強化により翻訳・LQAやマーケティング支援の新規案件が増加し、**グローバル及びその他で2桁成長を達成**
- 一部の国内ゲームメーカーにおけるタイトル開発の中止・延期の影響を受けつつも、戦略的なリソース集中等の営業強化や、サービスの高付加価値化による受注単価引き上げにより、**国内デバッグも前年を上回る売上を確保し安定成長を実現**
- 増収効果や前期2Qに実施したスピノフ上場準備に伴うグループ人材の再配置による販管費の減少により、**2桁増益を実現**



25/3期 下期の見通し

- 年末商戦期に向け国内デバッグが下期盛り上がる見込み
- 「ELLA」の対応言語拡大をはじめ、引き続きグローバルソリューションの強化・拡充を図ることで、さらなる成長を目指す

成長戦略の進捗

エンターテインメント業界のグローバル・クオリティ・パートナーを目指し
グローバルソリューションの拡充やグローバルブランディング確立を推進

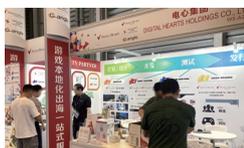
サービス拡充 “感情”を表現するAI翻訳エンジン「ELLA」をローンチ

<p>Point 1 世界観やキャラクター個性を反映した感情豊かな翻訳</p> <p>(例)</p> <p>Good to see you</p> <p>会えて嬉しいよ</p> <p>主人公</p> <p>お目にかかれて光栄です → 王様</p> <p>会えて嬉しいぜ → 友人</p> <p>ついに会えたか → 敵</p>	<p>Point 2 圧倒的スピードを実現</p> <p>(事例) 100万文字の日本語を英語に翻訳した場合</p> <p>↓</p> <p>従来の翻訳と比較し翻訳時間を約40%削減</p>	<p>Point 3 “エンタメ品質”に妥協しないゲームに精通したネイティブスタッフによるレビュー</p>
---	---	--

「世界同時発売」に対してクライアントが抱える課題を
“エンタメ品質”に妥協しない翻訳×圧倒的スピードを実現した「ELLA」で解決

新規顧客開拓

中国・欧州・日本における
各国最大規模のゲームショーへ積極参加
企業認知度の向上やグローバルクライアントの獲得に注力



ChinaJoy 2024



gamescom 2024



東京ゲームショー 2024

AGESTグループ

エンタープライズシステムの不具合を検出するシステムテストやセキュリティテスト、ERPの導入支援等のサービス、セキュリティ監視、システムの保守・運用支援等のサービスを提供

売上高

7,925百万円
(前年同期比 103.7%)

セグメント損失

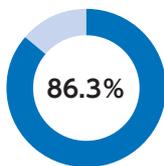
△6百万円
(前年同期比 -%)

25/3期 上期のポイント

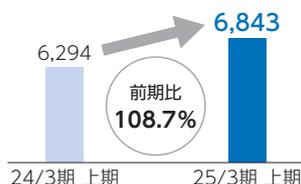
- **QAソリューション**は、引き続き海外事業が低調に推移するなか、国内事業は1Qにイレギュラーがありつつも好況な市場環境を追い風に**2桁増収を実現**
- **ITサービス及びその他**は、収益性の低い事業の**戦略的な縮小により減収**
- 1Qに発生した特定案件のクライアント側の計画見直しに伴う一時的な収益性の低下の影響が大きかったものの、**2Qには黒字回復**

QAソリューション

AGESTグループ事業
売上高構成比

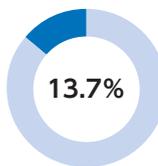


売上高推移 (百万円)



ITサービス及びその他

AGESTグループ事業
売上高構成比



売上高推移 (百万円)



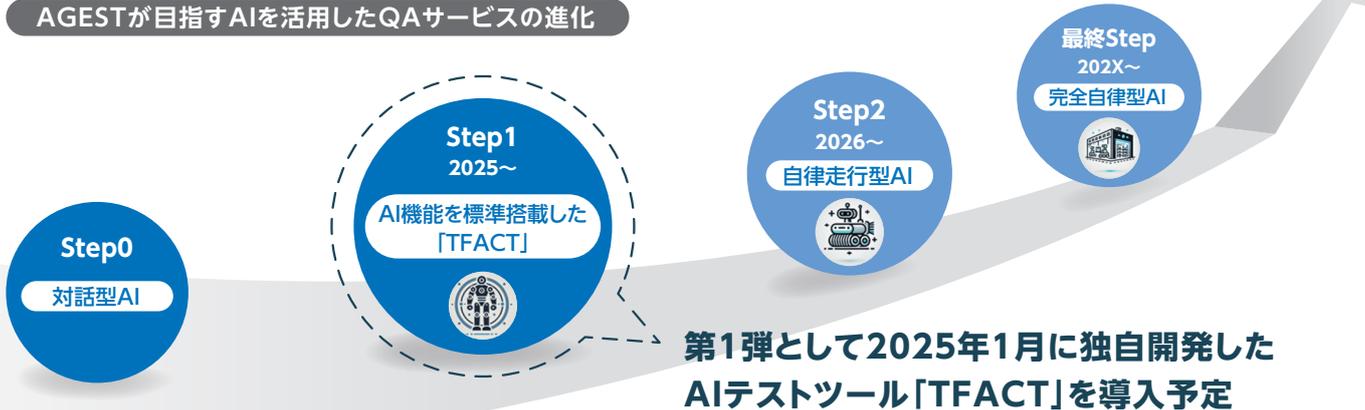
25/3期 下期の見通し

- 大手自動車メーカーの品質コンサルや大手流通企業のQA体制構築支援等の大規模・継続案件が稼働予定
- 1Qの特殊要因解消や売上拡大により、下期は安定的に利益を創出する見込み

成長戦略の進捗

エンタープライズシステムの“品質”を先端技術で支えるAIテスト企業を目指し
AI活用を本格化

AGESTが目指すAIを活用したQAサービスの進化



TFACT
Testing Factory
AGEST AI Assist

- 単なるテスト自動化ではなく、事前準備や結果検証・分析等をエンジニアに代わってAIが実施
- 「TFACT」導入により、テスト工数を30%削減

「TFACT」×AGEST独自の「次世代QAエンジニア[※]」により
テストスピード、高度なQA、エンジニア不足を解決

[※]次世代QAエンジニア：ソフトウェア開発の知識とテストの知識両方を持ち合わせ、開発からリリース後までトータルで品質向上の最適化を実現できる最上位のQAエンジニア

✓ 2025年3月期 通期連結業績予想

- 上期実績を踏まえ、2024年11月7日付で通期連結業績予想を修正
- 概ね計画通り進捗しているDHグループ事業については期初計画を据え置き、AGESTグループ事業の計画を主に修正
- 2024年10月末実施の連結子会社であるMK Partnersの株式譲渡に伴う株式譲渡売却益の影響を下期見込みに反映

(百万円)	24/3期 実績	25/3期 修正予想 (2024年11月7日付)	前期比	
売上高	38,790	42,020	3,229	108.3%
DHグループ事業	23,488	25,720	2,231	109.5%
AGESTグループ事業	15,975	16,490	514	103.2%
調整額	△674	△190	483	—
営業利益	2,039	2,540	500	124.5%
DHグループ事業	1,734	2,040	305	117.6%
AGESTグループ事業	305	500	194	163.7%
営業利益率	5.3%	6.0%	0.7ポイント	
経常利益	2,059	2,470	410	120.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	176	1,600	1,423	904.3%

✓ 株主還元

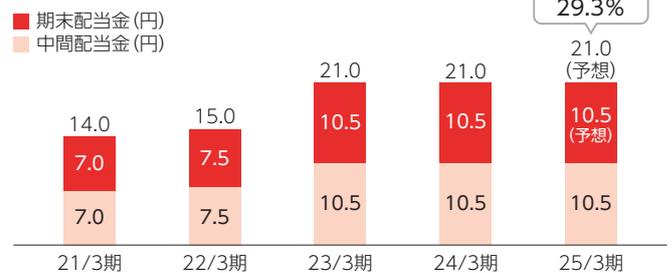
中間配当金 **10.5円**

年間配当金(予想) **21.0円**

当社は、事業成長投資と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向20%を下限の目途として配当を行うことを基本方針としております。

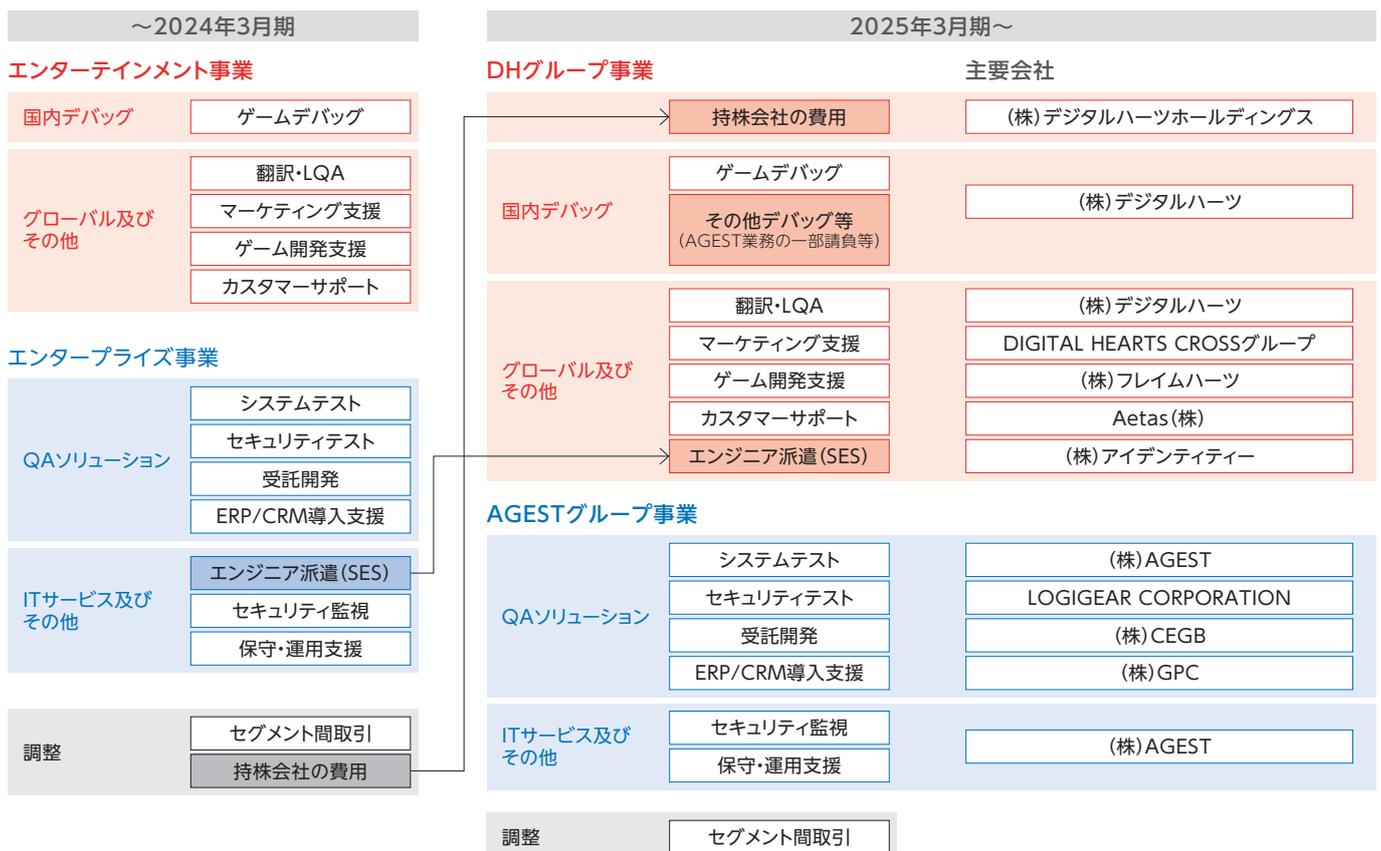
当期の中間配当金につきましては、期初予想通り10.5円といたしました。また、年間配当金は21.0円と前期と同水準の安定的な配当を実施する予定です。

配当金の推移



Appendix

スピノフ上場後を見据え、25/3期から“DHグループ”及び“AGESTグループ”の開示セグメントに変更



財務情報 (要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	24/3期(前期末)	25/3期(当中間期末)
流動資産	13,526	13,528
固定資産	7,576	7,635
有形固定資産	1,491	1,490
無形固定資産	2,908	2,842
のれん	2,313	2,193
投資その他の資産	3,177	3,302
資産合計	21,103	21,163
流動負債	12,026	11,722
固定負債	224	223
負債合計	12,250	11,945
株主資本	7,685	7,918
その他の包括利益累計額	729	868
非支配株主持分	436	430
純資産合計	8,852	9,217
負債純資産合計	21,103	21,163

会社情報

会社概要

(2024年9月30日現在)

社名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	300百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード: 3676)
主なグループ会社	株式会社デジタルハーツ 株式会社AGEST LOGIGEAR CORPORATION AGEST Vietnam Co., Ltd. DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED MK Partners, Inc. 株式会社CEGB 株式会社GPC 株式会社アイデンティティー DIGITAL HEARTS CROSS Marketing and Solutions Limited 株式会社フレ임ハーツ Aetas株式会社
正社員数 (連結)	1,811名

株主メモ

(2024年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当金 毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	24/3期(前中間期)	25/3期(当中間期)
売上高	18,669	19,906
営業利益	729	825
経常利益	792	809
親会社株主に帰属する中間純利益 又は中間純損失(△)	△436	455

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	24/3期(前中間期)	25/3期(当中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	176	140
現金及び現金同等物の増減額	540	71
現金及び現金同等物の期首残高	6,456	6,858
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,997	6,930

株式情報

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株
発行済株式の総数 23,890,800株 (自己株式1,604,473株を含みます。)
株主数 6,816名

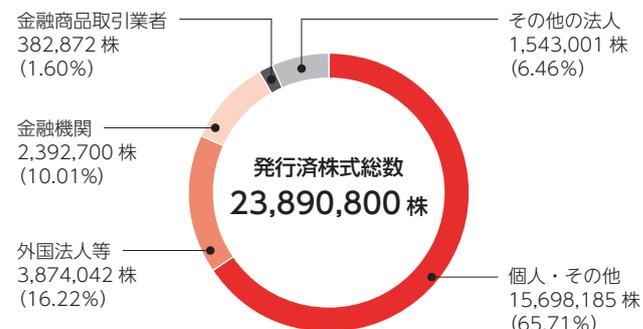
大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤 栄一	9,424,569	42.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,588,400	7.13
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,488,164	6.68
A-1合同会社	1,324,900	5.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	703,900	3.16
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	262,400	1.18
MSIP CLIENT SECURITIES	262,344	1.18
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381593	207,600	0.93
藪 太一	200,000	0.90
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	187,850	0.84

(注) 1. 当社は、自己株式1,604,473株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2024年9月30日現在)



* 「個人・その他」には自己名義株式1,604,473株(6.72%)を含んでおります。

ホームページのご紹介 <https://www.digitalhearts-hd.com/ir/>

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュース等、様々な情報を公開しております。